

質問

国の有識者会議が公表した 地方人口の減少に対する対応を急げ



南 雲 正

答 弁 仮定の試算値であり、発表前から各自治体では人口増対策を実施している

問 全国の約半数の自治体で30年間に20代から30代の女性人口が半減するという。湯沢町でも73・5%の減少が示されている。町長は企業誘致や企業支援、子育て支援の充実で人口1万人への回復を目指しているが、豪雪地というハンディは地域間競争においては不利な条件である。わが町の持つ歴史と伝統に裏付けられた交流人口の増加策を最優先施策とすべきではないか。

答 この予測は仮定に基づく試算値。子育て支援、若い世代の働く場の創出等の施策を多面的に実施し、開花八策に掲げた循環型社会を確立する。



工事中の湯沢学園

質 問 オール湯沢で取り組む湯沢学園実現のために、全国学力テストの結果の公表を

答 弁 公表はしないこととした

問 町の教育方針が『地域に愛され地域で育てる学校』であり、湯沢学園が『オール湯沢で取り組む共育の町、湯沢』の実現を目指すのであれば、全国学力テストの結果を公表し、地域と学校が目標を共有して学力向上に取り組むべきである。

組むべきである。

答 教育委員会では、メリット、デメリットを検討して「序列化や過度な競争につながり、調査偏重、順位偏重に

なる」等の理由から公表しないこととした。全人的な成長をめざし、学力も着実に向上している。

質 問 湯沢学園の特色ある教育課程の編成として、小学1年生から英語教育を

答 弁 ALTが1年から4年まで全学級で年間19時間外国語活動を計画している

問 小学校5年生からの英語学習につなげるために、小学校1年生から英語に親しむ環境を子どもたちに提供することも特色ある教育の実践であると思う。

答 グローバル化社会に通用する人材育成のために環境整備を図るべきである。

答 ALT2名を採用して5、6年生の外国語活動や中学校の外国語の授業で活用するとともに、1年生から4年生についても全学級で年間19時間外国語活

動を計画している。

保、小、中一貫体制で外国語を学ぶ機会を設定していて、都会に負けない教育であると考えている。

※ALT:

Associate Language Teacher
主に英語を母語とする大学卒業者を日本に招聘し、外国語指導助手(ALT)として、小学校・中学校に配置している。外国語活動、英語の授業に参加し、指導の補助に当たっている。